

令和5年度 学校経営報告

府中市立府中第三小学校長 関 修一

1.令和5年度 学校経営の成果と課題

① 問題解決能力の育成

校内研究で算数科の研究をすすめ、各学年1回年間6回の研究授業を実施した。問題解決能力の自力解決の力は大きく育ってきている。また、話し合い活動を通して、自分の考えを深められる児童が増えてきている。今後の課題としては、問題設定の場面で主体的に問題を作成していく力を育てていくことである。

② 児童の気持ちによりそった指導

特別支援に関する研修を充実させることで、児童の気持ちによりそった指導ができるようになりつつある。昨年度に比べて教室内でしっかりと学習に取り組めるようになってきている。

③ 見通しをもった組織運営

今年度、校務分掌の組織を改編し、常置部会とプロジェクト部会に再編し、各学年から所属するようにした。行事についても、それぞれの部会が企画をするようにしたので非常に円滑に進めることができた。プロジェクト部会については、その年度の課題について取り組む組織でもあるので、来年度は、校舎移転部会を立ち上げる。

④ 創立70周年記念事業

今年度は、府中第三小学校創立70周年を迎え、記念式典を11月に実施した。参加した関係者からは高い評価をいただくことができた。これも地域やPTAを主体とした創立70周年記念事業実行委員会の方たちのおかげである。周年事業を通して、府中三小は、地域に支えられた学校であると感じるとともに、地域の方々との連携を深めることができた。

⑤ 学校経営支援予算

特別に支援を必要とする児童や対応することで、落ち着いて授業を進めることができた。本校の特色としては、新1年生の入門期である5月中旬まで各教室に1名の支援員を配置し、小学校生活に慣れさせるようにしている。この取組を行うことで学校生活に早めになれることができた。

⑥ 不登校対応

昨年度から解説している「サポートルーム」の充実に取り組んだ。今年度は、全ての時間に支援員を配置することができ、安心して利用できるようになったのが大きな成果である。

⑥ 教員の働き方改革に関する取組

放課後の時間の各保を図り、教材研究や学年内での打ち合わせの時間を確保するようにした。時間が確保できても業務量の関係で学校に滞在している時間は短くならないのが課題である。

2. 令和6年度の取組みと具体的な方策

(1) 学力向上

①理科・算数科を校内研究に位置付け問題解決能力の育成に取り組む

令和4.5年度の算数科の研究を受けて、3年生以上は理科を研究教科として問題解決能力の育成に取り組む。各学年1回ずつ合計6回の授業研究を行い、日常の授業の質を高めていく。

②ICT機器を活用した授業の充実(継続)

一人一台のタブレットを活用して、反復学習やそれぞれの時間の振り返りをおこなったり、問題解決的な学習において共同的で探究的な活動を進めたりして、児童一人一人に合った学習のスタイルを明らかにしていく。同時に、児童のICTスキルを高めていく。

(2) 人材育成

①若手教員の指導力向上(継続)

学年会で指導について足並みをそろえるとともに、基本的な授業の流れや一単位時間の目標を明確にするなど授業力を高める取組みを進める。企画調整会議と同時にOJT研修会を実施し、ベテラン教員のスキルを伝えていくようにする。

②主任教諭の育成(継続)

ミドルリーダーとなる主任教諭の育成を計画的に進める。

校務分掌の中で、学年主任や各所委員会・部会の主任に配置し、その分掌の運営責任者として分掌組織の進行管理や運営力を育成する。

(3) 小中連携

管理職・小中連携コーディネーターを中心に小中連携を推進する。授業参観を基本とし、各学期の連携授業の前後に小中連携連絡会を開催し、行動連携からカリキュラム連携に広げていけるようにする。来年度は、本校の研究授業に連携校の先生方に参加してもらい取組を進めていきたい。

(4) 校舎移転の取組

令和7年3月に新校舎が完成予定である。新校舎への移転作業がスムーズに行くようにプロジェクト部会を立ち上げ、計画的に移転作業を進めるようにする。